



かわら版

米穀機構 情報部

No. 2

2007年4月発行

(社)米穀安定供給確保支援機構(米穀機構)情報部
〒102 0083 東京都千代田区麹町3 3 6
TEL.03 3222 - 9583 FAX.03 3264 1771

米穀機構情報部では、お米に関する様々な情報をホームページ「米ネット」及び紙媒体により提供をしています。

その一環として「米穀機構・情報部かわら版」vol.2を発行いたします。今回は3月に公表された「基本指針」の内容の一部を簡略版として提供いたします。

ホームページ

「米ネット」のトピックス

米の需要情報に関する情報提供について

19年4月より、ホームページ「米ネット(<http://www.komenet.jp/>)」のお米の需給情報データベースゾーンの需給関連情報として、政府米の産地・品種別の契約数量(政府買入数量に対する契約数量)及び落札加重平均価格、全農・全集連が販売委託された米の主要産地・品種別の契約数量及び販売価格が見られるようになります。

(参考)全農(経済連、県JA含む)・全集連販売米(主食用うるち米)の販売動向(平成18年産米の主要産地品種別販売計画及び契約状況)
(平成18年12月末現在) (単位:千トン)

産地名	品種名	年間販売 計画数量	~18年12月 契約数量	契約 進捗
北海道	きらら397	193.3	150.1	78%
北海道	ほしのゆめ	89.3	75.1	84%
北海道	ななつほし	91.9	77.1	84%
青森	つがるロマン	87.5	71.9	82%
青森	ゆめあかり	29.9	28.0	94%
青森	まっしぐら	12.4	10.9	88%
岩手	あきたこまち	30.9	9.7	31%
岩手	ひとめぼれ	82.2	26.4	32%
宮城	ササニシキ	16.2	8.2	51%
宮城	ひとめぼれ	178.0	83.6	47%
秋田	あきたこまち	215.7	68.5	32%
秋田	ひとめぼれ	27.4	21.7	79%
山形	あきたこまち	8.3	4.8	58%
山形	コシヒカリ	8.1	2.8	35%
山形	はえぬき	76.0	30.1	40%
庄内	はえぬき	56.7	25.5	45%
庄内	ひとめぼれ	9.3	8.4	90%
庄内	コシヒカリ	3.3	1.4	42%
福島	コシヒカリ(会津)	23.6	13.4	57%
福島	コシヒカリ(中通り)	17.9	9.9	55%
福島	コシヒカリ(浜通り)	14.2	8.3	58%
福島	ひとめぼれ	27.5	10.6	39%
茨城	コシヒカリ	59.7	32.4	54%
茨城	あきたこまち	10.6	9.2	87%

産地名	品種名	年間販売 計画数量	~18年12月 契約数量	契約 進捗
茨城	ゆめひたち	3.2	1.1	34%
栃木	コシヒカリ	100.6	49.2	49%
栃木	ひとめぼれ	2.8	2.4	86%
栃木	あさひの夢	13.2	9.5	72%
千葉	コシヒカリ	42.5	22.9	54%
千葉	ふさおとめ	14.7	13.3	90%
新潟	コシヒカリ(一般)	190.8	64.1	34%
新潟	コシヒカリ(魚沼)	38.9	26.8	69%
新潟	コシヒカリ(岩船)	15.9	6.5	41%
新潟	コシヒカリ(佐渡)	20.2	7.0	35%
新潟	こしいばき	28.0	13.9	50%
富山	コシヒカリ	96.0	41.4	43%
富山	てんたかく	11.2	6.7	60%
石川	コシヒカリ	56.9	16.5	29%
福井	コシヒカリ	45.3	21.8	48%
福井	ハナエチゼン	20.3	12.3	61%
長野	コシヒカリ	58.5	28.6	49%
長野	あきたこまち	13.0	10.8	83%
岐阜	コシヒカリ	11.0	5.9	54%
岐阜	ハツシモ	15.2	4.4	29%
愛知	コシヒカリ	12.7	6.9	54%
三重	コシヒカリ(伊賀)	8.7	2.2	25%
三重	コシヒカリ(一般)	18.5	3.4	18%
滋賀	コシヒカリ	26.8	20.0	75%

産地名	品種名	年間販売 計画数量	~18年12月 契約数量	契約 進捗
滋賀	日本晴	8.0	4.7	59%
滋賀	キヌヒカリ	14.9	9.9	66%
京都	コシヒカリ	10.8	4.0	37%
兵庫	コシヒカリ	16.3	7.7	47%
兵庫	キヌヒカリ	14.1	6.7	48%
兵庫	ヒノヒカリ	7.0	3.4	49%
鳥取	コシヒカリ	14.3	6.2	43%
鳥取	ひとめぼれ	10.2	7.2	71%
鳥取	コシヒカリ	34.8	16.4	47%
岡山	コシヒカリ	5.7	2.6	46%
岡山	あきたこまち	5.4	3.6	67%
岡山	ヒノヒカリ	10.1	6.5	64%
広島	コシヒカリ	22.2	7.9	36%
山口	コシヒカリ	18.7	4.4	24%
山口	ヒノヒカリ	10.1	3.8	38%
山口	ひとめぼれ	11.4	3.3	29%
香川	ヒノヒカリ	15.6	6.5	42%
徳島	コシヒカリ	11.0	9.3	85%
福岡	夢つき	14.6	9.1	62%
福岡	ヒノヒカリ	18.7	11.2	60%
熊本	コシヒカリ	7.1	3.2	45%
熊本	ヒノヒカリ	6.2	5.6	90%
熊本	森のくまさん	5.2	4.1	79%
大分	ヒノヒカリ	7.7	3.1	40%

資料:全国出荷団体調べ

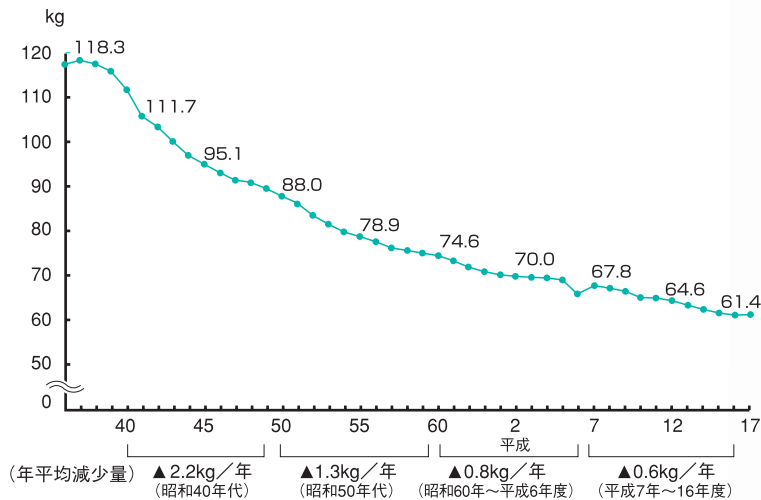
- 注: 1)対象銘柄は18年産入札取引の上場銘柄及び18年産主食用うるち米販売計画数量が1万トン以上のものである。
2)販売計画数量は主食用用途として取引先へ販売を予定している数量で、政府売渡(既決定分+予定分)・原材料うるち米・かけ米を除く。
3)契約数量には、第1回政府売渡決定数量を含まない。

I 米の消費に関する動向

米の1人当たり消費量は、長期的には昭和37年度(118.3kg)をピークに一貫して減少傾向にあり、平成17年度には61.4kgにまで減少しています。

これは1人1日あたり約1.1合(1合=150精米グラムで換算)しか米を消費していない計算になります。

図表1 米の消費量の推移(1人1年当たり)



資料:農林水産省「食料需給表」

注: 1) 1人当たり供給純食料の値である。
2) 17年度の値は概算値である。



II 米の生産に関する動向

1. 平成18年産水稻の作況及び収穫量

平成18年産水稻の作柄は、全国平均で作況指数96、10a当たり収量は507kgとなりました(図表2)。

図表2 平成18年産水稻の収穫量

全国 農業地域	作付面積	前年産との比較		10a 当たり 収量	10a 当たり 平年収量	作況指数	収穫量
		対差	対比				
全国	1,684,000 ha	▲18,000 ha	99 %	507 kg	529 kg	96	8,546,000 t

資料:農林水産省「平成18年産水陸稲の収穫量」

2. 平成18年産水稻の品種別収穫量

平成18年産水稻収穫量における上位品種は、前年産に引き続き、1位が「コシヒカリ」で320万トン(収穫量に占める割合37.4%)、2位が「ひとめぼれ」で84.1万トン(同9.8%)でした。

前年4位の「あきたこまち」が3位となり76.7万トン(同9.0%)、九州を中心に台風第13号による潮風害等の被害を受けた「ヒノヒカリ」が前年3位から4位となり70.4万トン(同8.2%)、「はえぬき」が5位となり29.3万トン(同3.4%)でした(図表3)。

図表3 平成18年産水稻の全国品種別収穫量(上位主要品種)

収穫量 順位	品種	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量		(参考) 前年産 収穫量割合
				割合	割合	
全国		ha	kg	t	%	%
1	コシヒカリ	1,684,000	507	8,546,000	100.0	100.0
2	ひとめぼれ	627,800	510	3,200,000	37.4	37.1
3	あきたこまち	162,700	517	840,700	9.8	10.0
4	ヒノヒカリ	139,800	548	766,500	9.0	8.8
5	はえぬき	172,100	409	704,300	8.2	9.2
—	もち米	48,700	602	293,400	3.4	3.3
—		58,100	469	272,700	3.2	3.5

資料:農林水産省「平成18年産水稻の品種別収穫量」

III 米の需給に関する動向

1. 米の出荷・販売の動向

(1) 米の出荷の動向

平成18年産米の生産者から単位農協等へのうるち米の出荷（販売委託・売渡）数量は514万トン（1月末現在）となっており、前年（1月末現在で533万トン）を下回る水準となっています（図表4）。

他方、生産者から単位農協等以外への売渡数量（直接販売）については、115万トン（1月末現在）となっており、17年産米（1月末現在で115万トン）と同水準で推移しています。

図表4 米の出荷（販売委託・売渡）の動向（単位：万トン）

	平成 12年産	13	14	15	16	17		18	
						(1月末現在)	(1月末現在)	(1月末現在)	(1月末現在)
(生産者→単位農協等)									
生産者→単位農協等	499	502	507	407	512	535	(533)	(514)	
単位農協等→全国出荷団体販売委託	466	434	423	318	382	383	(378)	(349)	
単位農協等の独自販売数量	24	28	30	42	70	71	—	(79)	
過剰米区分出荷見込数量	~33	~68	~84	~89	~130	~145	—	~165)	
過剰米区分出荷見込数量	—	—	—	—	0	7	(7)	(0)	
(生産者→単位農協等以外)									
直販数量	162	154	154	150	136	131	(115)	(115)	
無償譲渡数量	62	61	62	55	55	55	(41)	(42)	
(農家消費等)	89	84	82	78	75	71	(39)	(37)	

資料：全国出荷団体調べ、農林水産省「生産者の米穀現在高等調査」「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」等を基に作成

(2) 米の販売の動向

平成18年産の民間流通米（主食用うるち米）のうち、全農・全集連販売米（全農・全集連が販売委託を受けて販売した数量）の2月の販売実績は19.4万トンで、19年2月までの累計は109.8万トンとなり、17年産全農・全集連販売米の18年2月までの累計122.1万トンを下回る水準になっています（図表5）。

図表5 全国出荷団体（全農・全集連）販売米の販売状況（速報値）（単位：千トン）

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	~2月 累計	3月	4月	5月	6月	年計
16年産	11	44	107	213	203	220	185	222	1,205	363	326	269	524	2,687
17年産	9	45	108	184	197	237	219	222	1,221	303	265	298	317	2,404
対前年差	▲2	1	1	▲29	▲6	17	34	0	16	▲60	▲61	29	▲207	▲283
18年産	6	38	84	190	187	231	168	194	1,098					
対前年差	▲3	▲7	▲24	6	▲10	▲6	▲51	▲28	▲123					

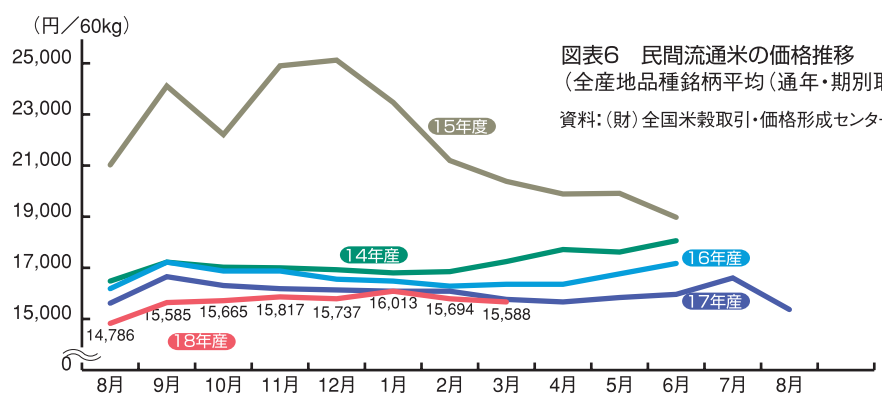
資料：全国出荷団体調べ

2. 価格の動向

コメ価格センターの入札価格の動向

センターにおける平成18年産米取引については、売り手・買い手それぞれのニーズに応じた新たな取引手法の導入等を見直しを行った取引ルールの下で実施しています。

取引動向としては、3月22日現在で68銘柄（前年75銘柄）、33万トン（前年同期63万トン）が上場され、61銘柄（前年75銘柄）、8万トン（前年同期33万トン）が落札、落札率23.5%（前年49.9%）、申込倍率0.6倍（前年0.9倍）となっており、年明け以降、定期注文取引の上場数量、落札数量が大きく増加し、これが取引の主体となり、全体の落札率は上昇しています。



図表6 民間流通米の価格推移（全産地品種銘柄平均）
（通年・期別取引、定期注文取引の合計）
資料：（財）全国米穀取引・価格形成センター調べ

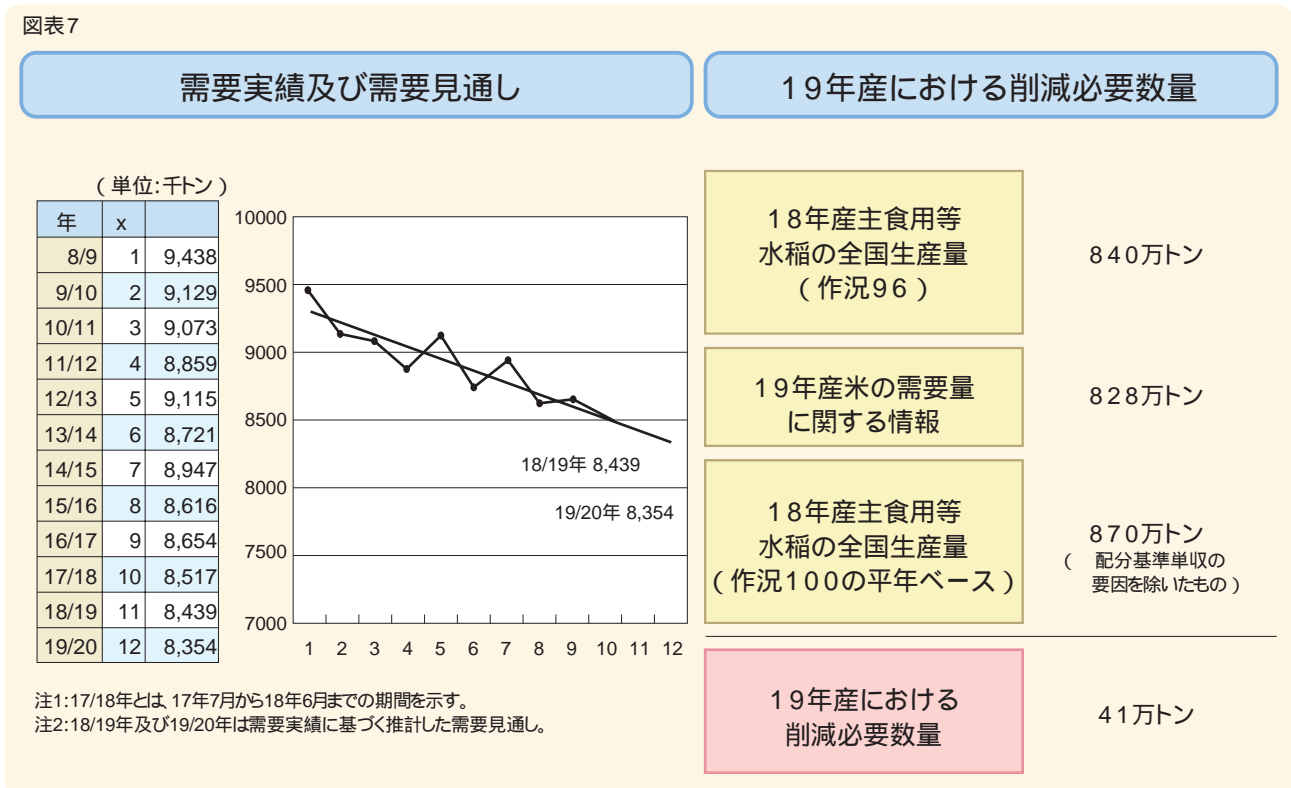
IV 需給調整の実効性確保に向けて

18年産米においては、作況が96となり、需給はほぼ均衡したところであるが、これは、18年産米が生産目標数量に比べて大幅な過剰作付けの状況にあり、不作分を過剰作付け分が補ったことから需給は均衡したものであり、仮に平年作であれば40万トン以上もの過剰米が発生し、米価の大幅な下落による農業経営への影響は避けられなかったものと考えられる。

このため、19年産米においては、過剰作付けの状況を是正していく必要があることから、地方キャラバンの中で、過剰作付けの現状とその是正の必要性についても説明し、地域自らの積極的な取組を要請したところである。

さらに、過剰作付けとなっている地域に対し、地方農政事務所等、農業者団体、地方公共団体等の地域の関係者による過剰作付けの是正に向けた取組を実施してきているところである(図表7)。

図表7



需要量に関する 情報に基づく 適切な生産の徹底

19年産以降も過剰作付けが続けば、米価の大幅な下落は必至。

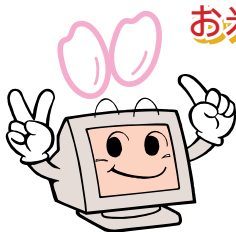
需要量に関する情報に基づく適切な生産の徹底

・多くの都道府県が過剰生産となっている状況であり、需要量に関する情報に基づき、需要に応じた生産を的確に実施する必要。

中長期的な視点に立った生産計画

・米消費の減少、人口の減少、6中4の算定に用いる需要実績の採用状況等の要因分析を踏まえ、将来的な米生産の方向性を的確にビジョンに設定する必要。

・需要量に関する情報が増加した地域においては、生産調整非参加者を生産調整の実施へ誘導する取組に活用するなど、有効的な活用について検討する必要。



お米・ごはん情報満載のホームページ 米ネット

米穀機構のホームページ「米ネット」では、お米の価格・消費・生産などの統計データをはじめ、生産者の皆様向けのお米に関する情報やすぐに役立つごはん料理レシピなど最新の情報を常時提供しています。

また、生産者の皆様からの「米ネット」に関するご提案・ご要望をお待ちしております。

「生産者のコーナー」の中の「意見を投稿する」の投稿フォームからEメールをご利用ください。皆様のアクセスをお待ちしています。